

2023年度(2024年3月期) 通期 決算説明会

2024年 4月 26日
セイコーエプソン株式会社

■ 第4四半期実績(前年同期比較)

- 為替によるプラス影響があったものの、世界経済の減速影響などを受ける
- 成長領域である商業・産業IPIは、顧客の投資抑制の影響を受けながらも着実に伸長
- 在庫削減に伴う利益マイナス影響

■ 長期ビジョン「Epson 25 Renewed」実現に向けた進捗

- 収益性・資本効率を重視した経営を推進したものの、マクロ環境変化、一時的要素、成長領域の課題により2023年度の業績目標に届かず
- 今後は、成長領域の課題に対する施策を着実に実行し、エプソンの事業ポートフォリオを変革
- マクロ環境や売上成長を保守的に見積もった上で、業績目標達成に向け、固定費を中心としたコスト削減活動を実施し、収益性改善をさらに進める

■ 2024年度通期業績予想

- 厳しい経済環境を想定するものの、商業・産業IIPの増収やマイクロデバイスでの下期からの市場回復を織り込む
- 2023年度に生じた在庫削減に伴う利益マイナス影響が解消
- 300億円を上限とする自己株式取得を実施予定

- 第4四半期実績
- 2023年度通期業績
- 長期ビジョン実現に向けた進捗
- 2024年度予想・株主還元

2023年度 第4四半期決算 | ハイライト

(億円)	2022年度		2023年度		対前年同期	
	Q4実績	%	Q4実績	%	増減額	増減率
売上収益	3,359		3,218		-140	-4.2%
事業利益	143	4.3%	103	3.2%	-39	-27.6%
営業利益	145	4.3%	58	1.8%	-86	-59.8%
税引前利益	154	4.6%	104	3.2%	-50	-32.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	135	4.0%	101	3.2%	-34	-25.4%
EPS*1 (円)	40.97		30.60			
為替レート (円、指数)	USD	¥132.28	¥148.31			
	EUR	¥141.97	¥161.07			
	その他通貨*2	100	113			

- 営業利益
 - その他の営業費用に、英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用48億円、マニファクチャリングソリューションズ事業の減損損失を6億円計上
- 税引前利益
 - 円安進行による為替差益(金融収益)を計上

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+112	+66	+104	+283
事業利益	-16	+41	+69	+94

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
 *2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

プリンティングソリューションズ		2022年度 Q4実績	2023年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		2,401	2,302	-98	+210	-4.1%
セグメント利益		222	217	-4	+72	-2.2%
セグメント利益率		9.3%	9.4%			

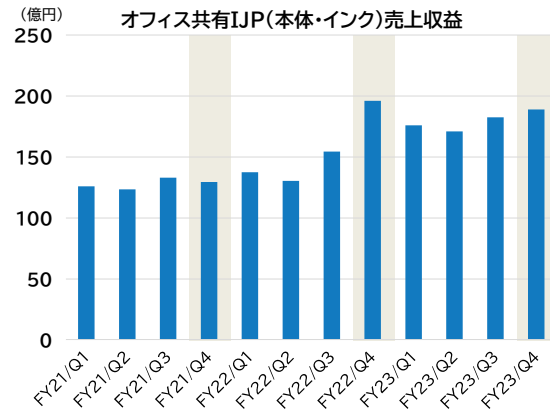
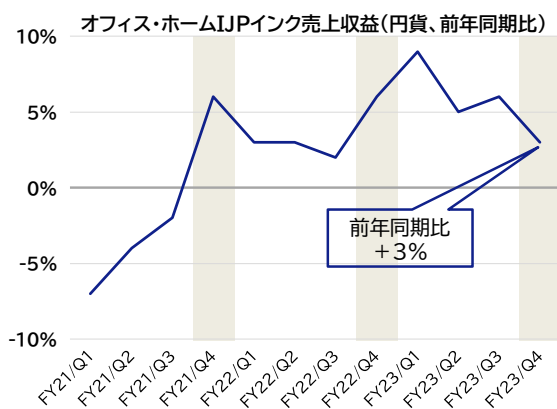
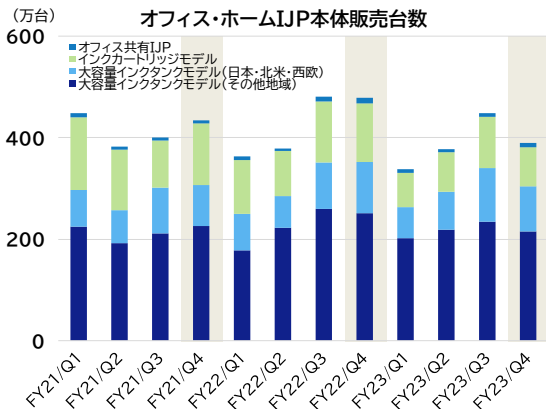
オフィス・ホームプリンティング		2022年度 Q4実績	2023年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		1,746	1,621	-125	+153	-7.2%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1		1,361	1,258	-102		-7.6%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2		195	189	-6		-3.4%
その他*3		189	173	-16		-8.4%
事業利益		107	109	+2	+42	+2.7%
事業利益率		6.1%	6.8%			

(億円)

■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体は、各国でチャネルからの需要が旺盛であった前年同期に対して、当四半期は市場停滞影響を受けたことで販売数量減少。高値で推移していた前年度と比較して販売価格低下
- 減収影響のほか、在庫削減に伴う利益マイナス影響があったものの、費用抑制や海運運賃の改定効果による輸送費の減少もあり、事業利益は前年同期並み

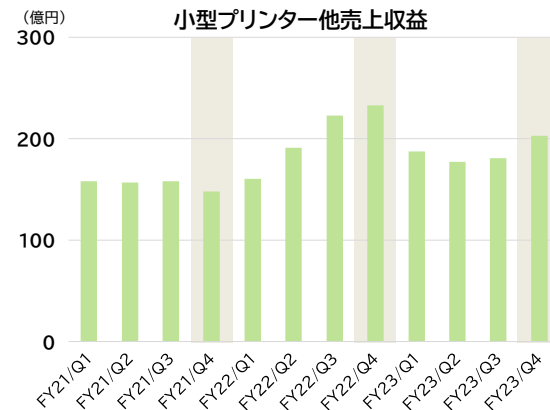
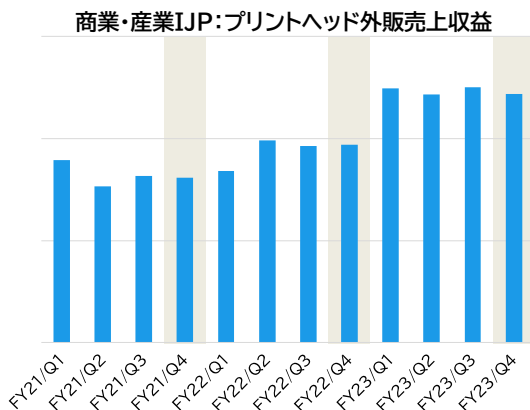
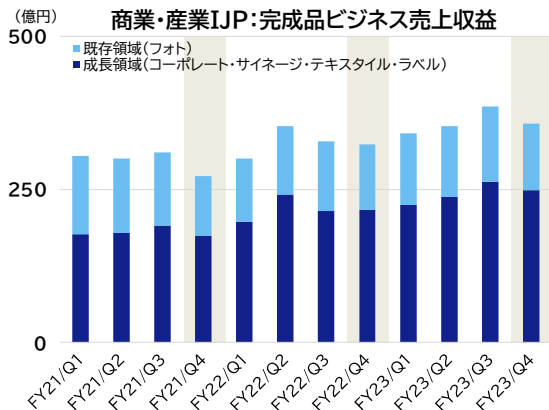
*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LJ本体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など



商業・産業プリンティング	2023年度 Q4実績		2022年度 Q4実績		増減率	
	2023年度 Q4実績	2022年度 Q4実績	増減額	内為替影響額	増減率	増減率
売上収益	653	681	+27	+57	+4.3%	
商業・産業IJP	420	479	+58		+13.8%	
小型プリンター他	233	202	-30		-13.0%	
事業利益	115	107	-7	+29	-6.7%	
事業利益率	17.6%	15.8%				

■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品は、顧客での投資抑制影響を受け、販売伸長は限定的
- プリントヘッド外販は、輸出も手掛ける中国メーカーへの販売を中心に堅調な販売が継続
- 小型プリンター他は、欧米を中心に小売業界や飲食業界などで投資抑制が長期化



ビジュアルコミュニケーション	2023年度 Q4実績		2022年度 Q4実績		(億円)	
	増減額	内為替影響額	増減額	内為替影響額	増減率	
売上収益	+6	+46	475	481	+1.3%	
セグメント利益	+10	+12	60	71	+17.5%	
セグメント利益率			12.7%	14.8%		

◆ プロジェクターの販売動向*

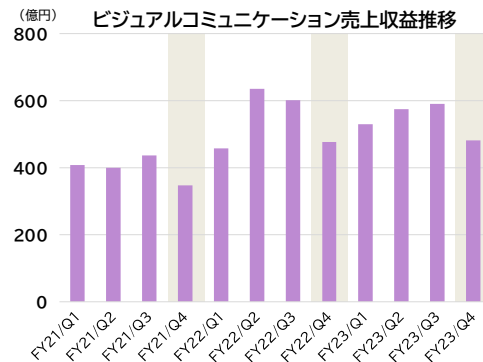
	2023年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益(円貨)	+40%	+1%
売上収益(現地通貨)	+28%	-9%
販売台数	+19%	-8%

* 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連・ウェアラブル	2023年度 Q4実績		2022年度 Q4実績		(億円)	
	増減額	内為替影響額	増減額	内為替影響額	増減率	
売上収益	-62	+26	495	433	-12.6%	
マニファクチャリングソリューションズ	-1		70	69	-1.5%	
ウェアラブル機器	+6		69	76	+10.1%	
マイクロデバイス他	-53		296	242	-18.1%	
PC	-12		65	53	-18.9%	
事業間売上収益	-2		-6	-8	-	
セグメント利益	-44	+9	26	-18	-	
セグメント利益率			5.3%	-4.2%		

■ ビジュアルコミュニケーション

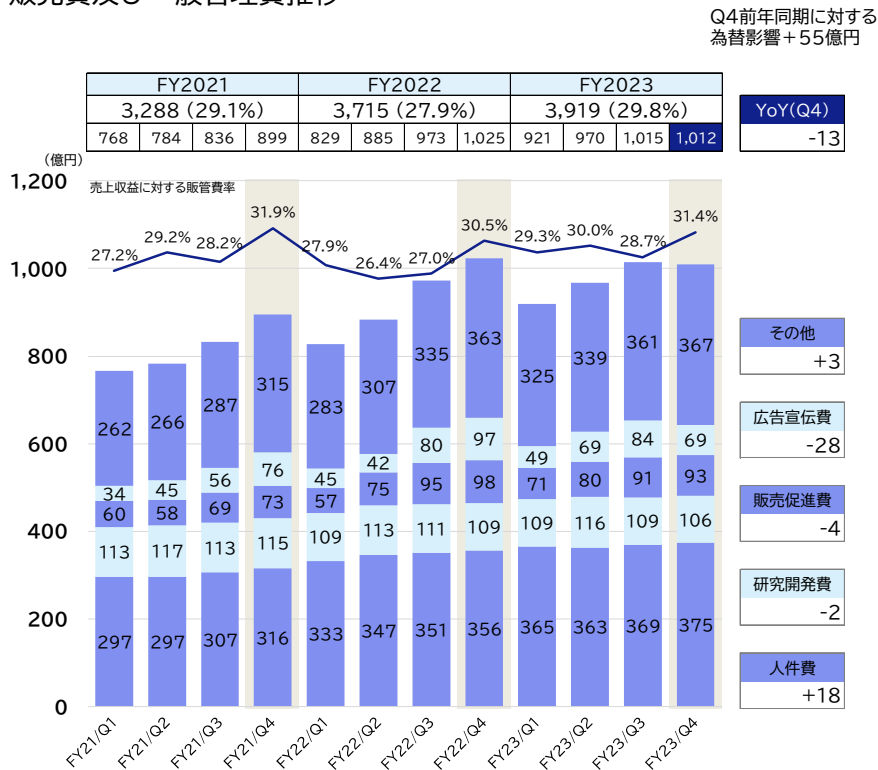
- ・ 欧米を中心にホームプロジェクターの販売が軟調に推移



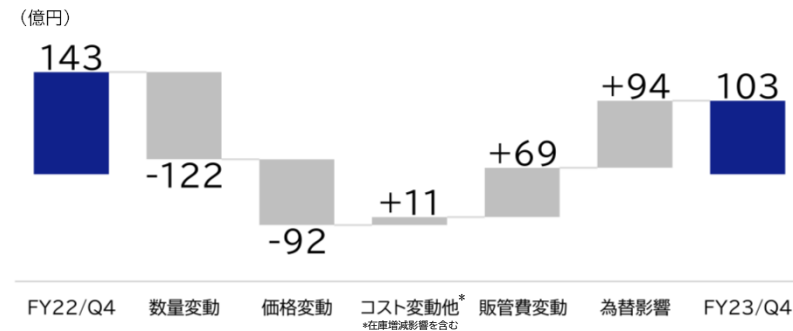
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- ・ マニファクチャリングソリューションズは、中国を中心に厳しい事業環境が継続
- ・ ウェアラブル機器は、市場環境に大きな変化はなく、売上収益は前年同期並み
- ・ マイクロデバイス他は、市場停滞により減収

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因



数量変動

- + プリントヘッドなど
- マイクロデバイス、オフィス・ホームIJP、プロジェクター、小型プリンターなど

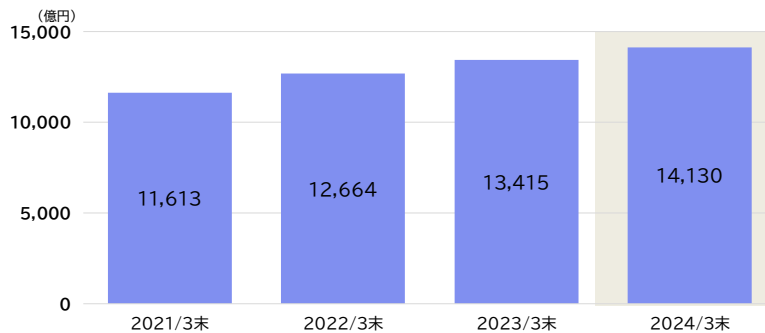
価格変動

- + ウォッチなど
- オフィス・ホームIJP本体など

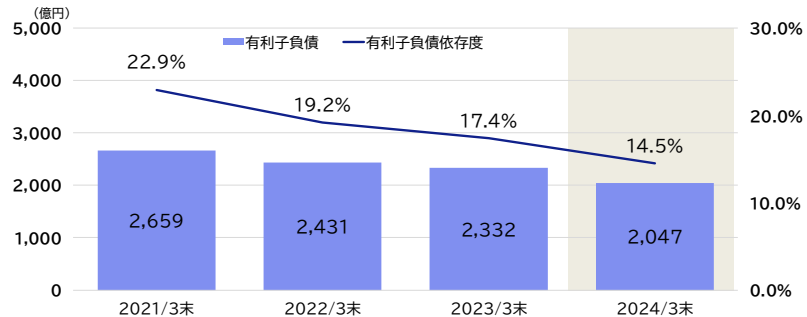
コスト変動他

- + 海運運賃改定効果による輸送費の減少、減産に伴う費用減少など
- 在庫削減に伴う影響など

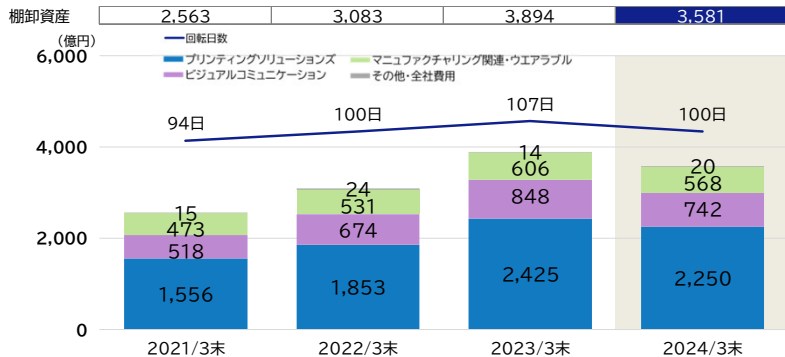
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



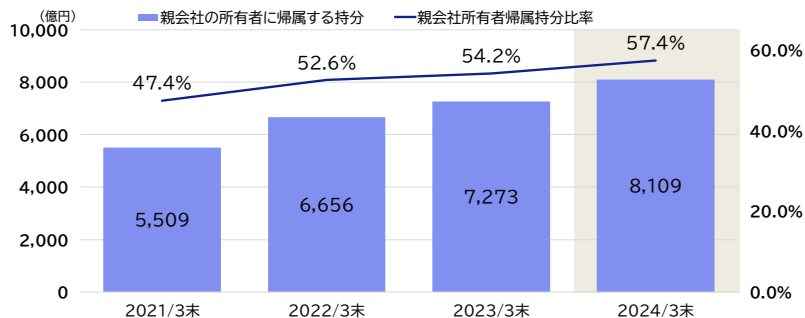
棚卸資産・回転日数



ネットキャッシュ

期末	2021/3末	2022/3末	2023/3末	2024/3末
ネットキャッシュ (億円)	380	920	340	1,236

親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末)＝連結会計期末棚卸資産残高/連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益

- 第4四半期実績
- **2023年度通期業績**
- 長期ビジョン実現に向けた進捗
- 2024年度予想・株主還元

(億円)	2022年度		2023年度		増減額／増減率			
	実績	%	2/2予想	%	実績	%	対前期	対2/2予想
売上収益	13,303		13,300		13,139		-163 -1.2%	-160 -1.2%
事業利益	951	7.1%	750	5.6%	647	4.9%	-303 -31.9%	-102 -13.7%
営業利益	970	7.3%	680	5.1%	575	4.4%	-395 -40.7%	-104 -15.4%
税引前利益	1,037	7.8%	770	5.8%	700	5.3%	-336 -32.4%	-69 -9.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	750	5.6%	550	4.1%	526	4.0%	-224 -29.9%	-23 -4.3%
EPS*1(円)	220.75		165.85		158.68			
為替レート (円、指数)	USD	¥135.44	¥144.00		¥144.44			
	EUR	¥140.90	¥156.00		¥156.66			
	その他通貨*2	100	107		108			

- 営業利益
 - その他の営業費用に、英国現地法人の年金バイアウトに向けた関連費用48億円、マニファクチャリングソリューションズ事業の減損損失を6億円計上
- 税引前利益
 - 金融収益に、円安進行による為替差益を計上

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+259	+224	+236	+720
事業利益	-44	+140	+153	+249

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

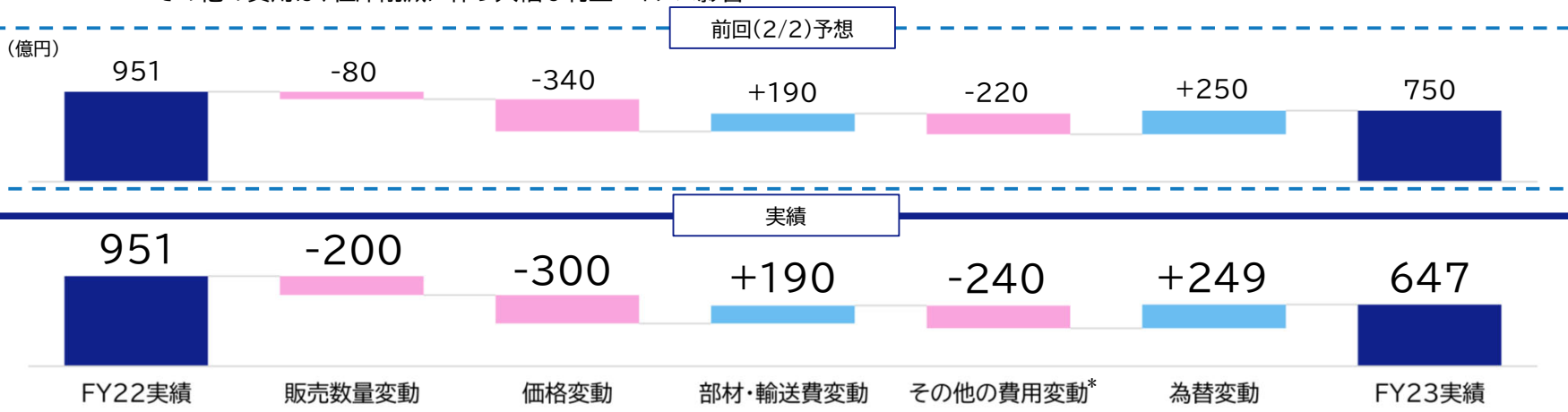
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

■ 前回予想比較

- 販売数量は、大容量インクタンクモデル、ビジュアルコミュニケーションなどでマイナス
- 価格は、ビジュアルコミュニケーションなどでモデルミックス変化によりプラス
- その他の費用は、費用抑制を進めたものの、計画以上に減産を進めたことで在庫削減に伴う利益マイナス影響が上回る

■ 2022年度比較

- 販売数量は、マイクロデバイス、ビジュアルコミュニケーション、大容量インクタンクモデルなどでマイナス
- 価格は、高値で推移していた前年度と比較して、オフィス・ホームIJP本体を中心にマイナス
- 部材費は高止まりが継続したものの、海運運賃単価改定により輸送費が減少
- その他の費用は、在庫削減に伴う大幅な利益マイナス影響



*在庫増減影響を含む

プリンティングソリューションズ	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/2 予想
売上収益	9,023	9,270	9,186	+162	+527	+1.8%	-83
セグメント利益	893	1,020	961	+67	+177	+7.6%	-58
セグメント利益率	9.9%	11.0%	10.5%				

オフィス・ホームプリンティング	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/2 予想
売上収益	6,534	6,600	6,508	-26	+384	-0.4%	-91
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1	5,199	5,150	5,084	-114		-2.2%	-65
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2	617	760	718	+101		+16.4%	-41
その他*3	717	690	705	-12		-1.8%	+15
事業利益	546	610	536	-9	+106	-1.8%	-73
事業利益率	8.4%	9.2%	8.2%				

*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LJJ本体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/2 予想
売上収益	2,489	2,670	2,679	+190	+143	+7.6%	+9
商業・産業IJP	1,681	1,930	1,930	+249		+14.8%	+0
小型プリンター他	807	740	748	-58		-7.3%	+8
事業利益	346	410	424	+77	+70	+22.4%	+14
事業利益率	13.9%	15.4%	15.8%				

■ オフィス・ホームプリンティング

- SOHO・ホームIJPは、FY22 Q4にチャネルが在庫を積み増した結果、FY23上期にチャネルによる在庫調整が生じ、販売台数は減少
- インクは、インクカートリッジの減少を、本体市場稼働台数の増加に伴う大容量インクボトルとオフィス共有インクの増加が補い、安定的に推移

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		FY22 実績	FY23 2/2予想	FY23 実績
オフィス・ホームIJP	伸長率	+2%	-6%	-9%
本体販売数量	約、万台	1,700	1,600	1,555
内 SOHO・ホーム向け 大容量インクタンクモデル		1,240	1,240	1,200
内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル		430	330	325
内 オフィス共有IJP		30	30	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	+3%	+5%	+6%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-7%		-0%

■ 商業・産業プリンティング

- 完成品は、ラインアップ拡大効果や印刷需要の回復などにより、ラベルやコーポレート、サイネージなど成長ジャンルを中心に増収
- プリントヘッド外販は、中国市場を中心に伸長
- 小型プリンターは金利高による顧客投資抑制の影響を受ける

ビジュアルコミュニケーション	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/2 予想
売上収益	2,168	2,210	2,174	+5	+131	+0.3%	-35
セグメント利益	348	340	315	-32	+53	-9.4%	-24
セグメント利益率	16.1%	15.4%	14.5%				

◆ プロジェクターの販売動向*	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績
販売台数(約、万台)	190	185	180
伸長率	+10%	-1%	-5%

*社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

■ ビジュアルコミュニケーション

- 個人消費の落ち込みによりホーム向けプロジェクターの販売が減少したものの、ビジネス向けや高光束プロジェクターの販売が堅調に推移
- 在庫削減に伴う利益のマイナス影響があり減益

マニュファクチャリング関連・ ウェアラブル	2022年度 実績	2023年度 2/2予想	2023年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/2 予想
売上収益	2,154	1,840	1,799	-355	+63	-16.5%	-40
マニュファクチャリングソリューションズ	305	250	247	-57		-18.9%	-2
ウェアラブル機器	358	360	347	-11		-3.1%	-12
マイクロデバイス他	1,307	1,040	1,043	-264		-20.2%	+3
PC	219	220	196	-22		-10.4%	-23
事業間売上収益	-36	-30	-35	+0		-	-5
セグメント利益	283	0	-15	-298	+18	-	-15
セグメント利益率	13.1%	0.0%	-0.9%				

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニュファクチャリングソリューションズは、中国における経済減速やローカルメーカー台頭など外部環境変化
- ウェアラブル機器は市況に大きな変化はなし、固定費抑制を継続
- マイクロデバイス他は、市場在庫調整の影響を受け、販売数量が減少

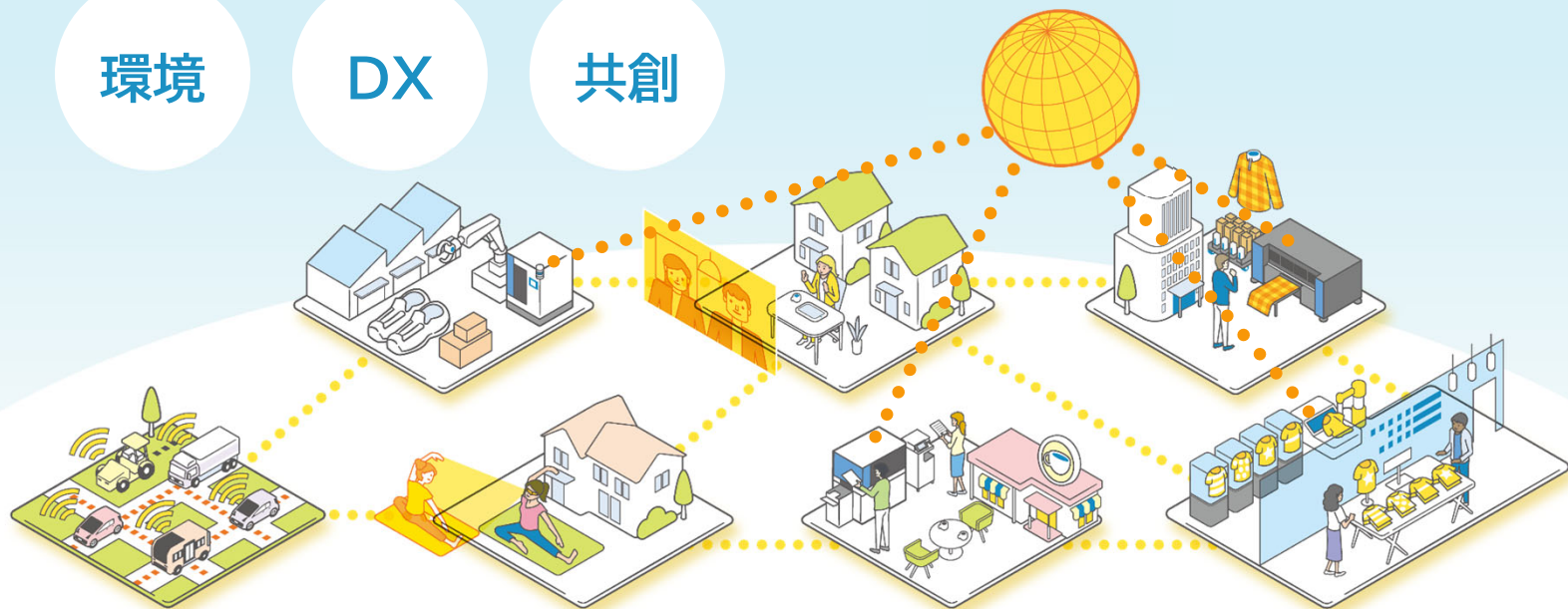
- 第4四半期実績
- 2023年度通期業績
- 長期ビジョン実現に向けた進捗
- 2024年度予想・株主還元

「省・小・精の技術」とデジタル技術で
人・モノ・情報がつながる、持続可能でこころ豊かな社会を共創する

環境

DX

共創



- 収益性・資本効率を重視した経営を推進したものの、マクロ環境変化、一時的要素、成長領域の課題により2023年度の業績目標に届かず

■ マクロ環境変化

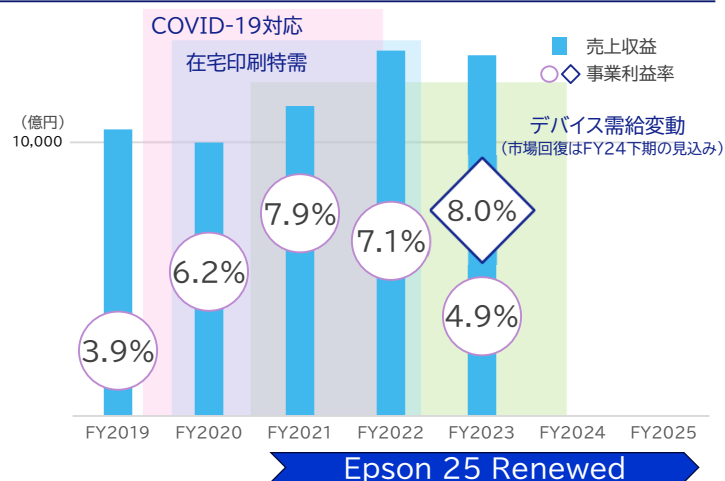
- インフレ影響、中国の成長鈍化などによる世界経済減速
- 部材費、輸送費、人件費などの費用増

■ 収益性に関する一時的な要因(2023年度)

- 在庫削減に伴う利益マイナス影響
- マイクロデバイス市場の調整

■ 主要事業の状況

- 基盤事業であるSOHO・ホームIJPは収益性を堅持
- 成長領域の取り組みに課題
 - ✓ オフィス共有IJP: レーザー陣営による価格施策、販売施策の見直し・実行の遅れ
 - ✓ 商業・産業IJP完成品: COVID-19による新製品投入遅れ、消耗品の市場での低価格品に対する需要増
 - ✓ マニュファクチャリングソリューションズ: 中国メーカーが台頭、製品競争力のさらなる進化が必要



	FY2023	
	目標 (2021年3月発表時)	実績
ROIC ^{*1}	8% 以上	4.6%
ROE ^{*2}	10% 以上	6.8%
ROS ^{*3}	8% 以上	4.9%

*1 投下資本利益率=税引後事業利益/(期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均+期首・期末有利子負債平均)
 *2 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *3 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益

領域・事業別 振り返り

為替レート USD/EUR

102/125

144/157

目標

実績

振り返り

成長領域

オフィス共有IJP、
商業・産業IJP(完成品、
プリントヘッド外販)、
マニファクチャリング
ソリューションズ

2020→25年度
売上収益
CAGR **+15 %**
以上

2020→23年度
+14.7 %

- 円安によるプラス影響があり売上目標は概ね達成
- 事業利益が計画未達

構造改革

ビジュアルコミュニケーション、
ウェアラブル機器

2020→25年度
ROS改善
+ 10 pt
以上

2020→23年度
+17.3 pt

- 事業構造改革が前倒しで進展し収益性改善

成熟領域

収益性維持・向上

SOHO・ホームプリンティング、
マイクロデバイス

継続的にROS
15 %
以上

2023年度
13.6 %

- 外部環境変化に対応し収益性維持(価格施策、費用抑制)
- マイクロデバイスは市場調整により収益性が一時的に悪化

新領域

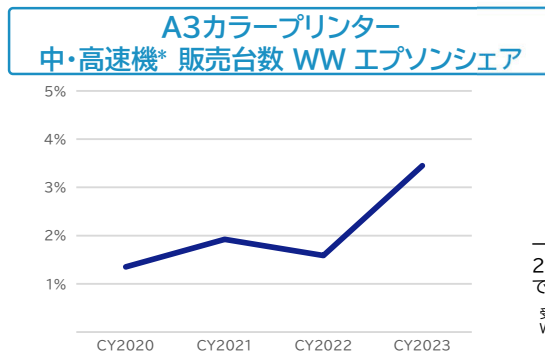
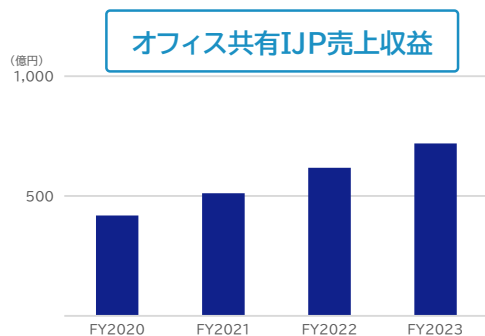
センシング、
環境ビジネス

2025年度 売上収益
100億円以上

2023年度
1億円

- 要素技術開発は進展
- ビジネス立ち上げには至らず

- 中速帯モデル投入によりラインアップを拡充し、シェア・売上収益が伸長するものの、競合による価格攻勢や拡販遅れなどにより売上目標未達



*Inkjet40ppm以上 Laser40-69ppm
Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2023Q4 Share By Brand
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します



一般財団法人省エネルギーセンター主催
2023年度 省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門
でLJ複合機が「資源エネルギー庁長官賞」を受賞
受賞製品:
WorkForce Enterprise LM-C6000-LM-C5000-LM-C4000

戦略の方向性

- 製品ラインアップ拡大とソリューション提供、環境性能の訴求による、レーザーからインクジェットへのテクノロジーシフトを実現
- 環境負荷低減・生産性向上・印刷コスト低減を実現するインクジェット製品の提供

成果

- 中速帯モデル投入でラインアップ拡充
- ディーラー開拓が進展
- 本体稼働台数増加によりインク販売増加

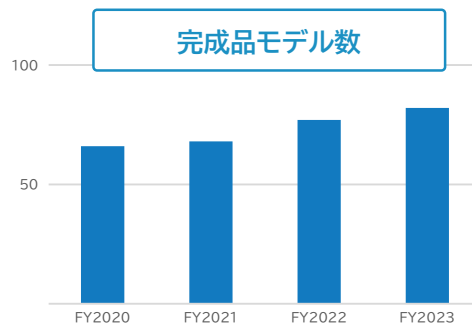
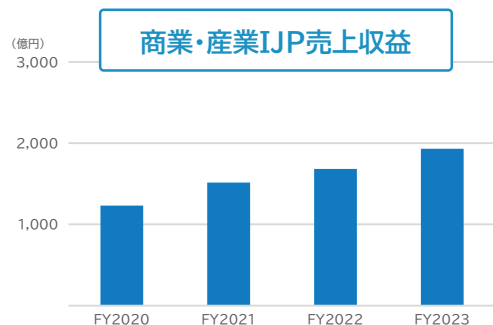
課題

- 競合による価格攻勢
- IJPのTCO(総保有コスト)優位性への理解が一部チャネルで十分に進まず、拡販に遅れ

今後の取り組み

- 利便性・価格への顧客要望に対応し、コストダウン活動を継続
- 地域・パートナー戦略を見直し、IJPの価値訴求を強化

- 完成品ビジネスは、ラインアップ拡充を進めたものの新製品投入遅れや、金利高による顧客の投資抑制もあり売上目標未達



戦略の方向性

成果

課題

今後の取り組み

- プラットフォーム設計による効率的な製品開発・ラインアップ拡充
- データ活用による顧客支援のソリューションを提供

- プラットフォーム活用による効率的な製品ラインアップ拡充
- 収益複層化に向けた「Epson Cloud Solution PORT」(PORT)加入数増加

- 新製品投入の遅れにより、拡販にも遅れ
- 消耗品の市場での低価格品に対する需要増
- PORT利用率の向上

- 作り上げたプラットフォームを活用し、ラインアップ拡充
- 消耗品での低価格品への対応
- PORT機能強化と訴求活動による利用率の改善と有償サービスの拡大

- 周辺技術を含めたソリューションの提供によるシェア拡大
- 共創による新規市場開拓

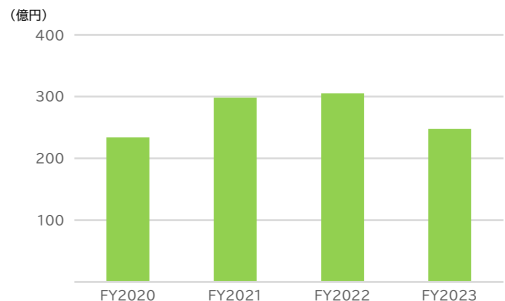
- 中国メーカーへの販売を中心に想定通りに拡大
- 新規用途開拓が進展

- 計画通りに進展

- 既存および新規用途の販売強化

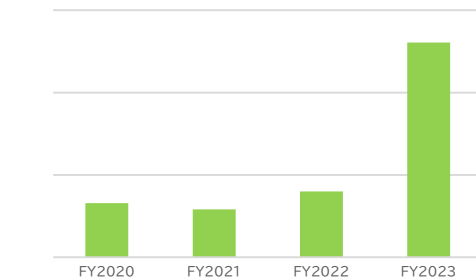
■ 世界経済の減速に伴う顧客投資抑制、中国メーカー台頭の影響を受け売上目標未達

マニファクチャリングソリューションズ
売上収益(ICH除く*1)



*1 FY2021に事業譲渡したICハンドラーを除く

力覚センサー(*2) 販売台数



*2 x,y,z軸それぞれについて力の大きさと回転方向を検出できるセンサー
検出した力情報をもとにロボットを制御することで、人間が手先の感覚をもとに行っていた動作をロボットで行うことが可能



戦略の方向性

- センシング技術とデジタル技術を応用したものづくりの自動化を実現するソリューション提案
- 次世代プラットフォーム開発による製品拡充と競争力強化
- 中国から東南アジア等への生産拠点移管ニーズをグローバル販売・支援力で獲得

成果

- “機能安全”搭載ロボットのプラットフォーム確立
- 難作業の自動化を実現する力覚センサーの価値が市場ニーズと合致し、販売拡大
- 小型射出成形機や分光カメラなどの周辺製品を拡充

課題

- エプソンのビジネスの中心である中国市場は低価格を武器とする中国メーカーが台頭
- ロボット・周辺機器・ソフトウェアを組み合わせた顧客提案が不十分

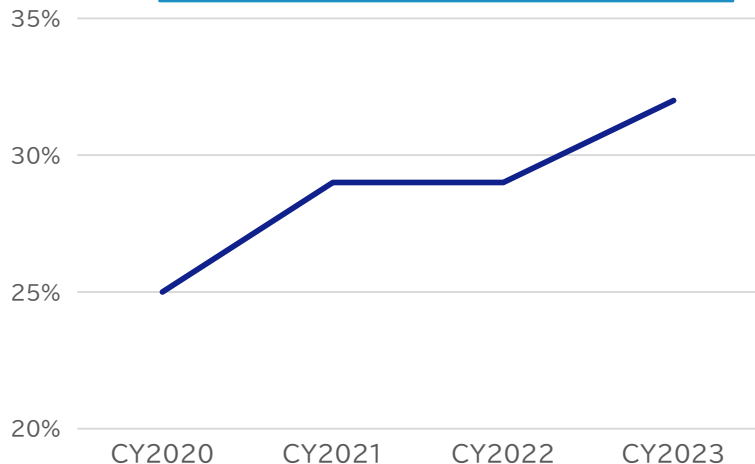
今後の取り組み

- コストパフォーマンス向上など製品競争力強化・ラインアップ継続拡充
- お客様が簡単導入できるソリューション開発・パッケージ化を強化
- 東南アジア・インドで販売強化

■ 市場での強固なプレゼンス・安定的な収益基盤維持

- ブランドアンバサダーによる大容量インクタンクモデルの価値訴求、販売チャネルのサポート強化
- 部材調達難や物流混乱による供給制約に対応
- 需給バランスに応じた価格対応を実施

A4サイズIJP販売台数 WW エプソンシェア



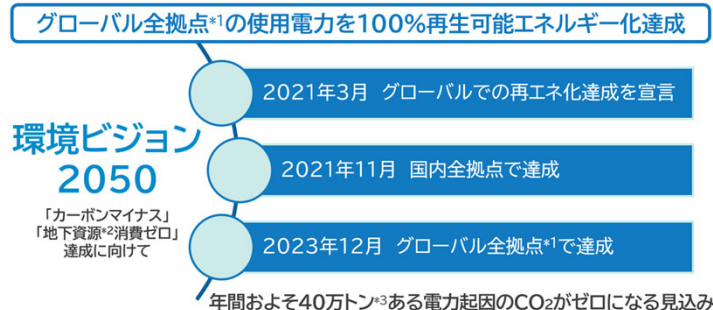
*Source: IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2023Q4 Share By Brand
本資料からの転載を禁止します

EcoTank Printers

Kiss Expensive Cartridges Goodbye.



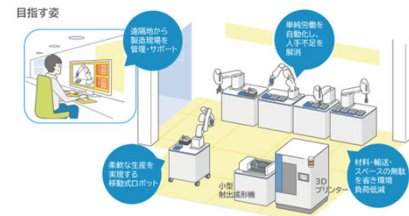
■ 持続可能な成長に向けた環境・DX・共創の取り組みが進展



*1一部、販売拠点などの電力量が特定できない賃貸物件は除く
*2津波、地震などの地産性資源
*3エプソングループの年間総使用電力量が約76GWh(2022年度実績)として試算



PaperLabラインアップ拡充



日本政策投資銀行と共同で、
高精度な金属3Dプリンティングの
造形技術を強みに持つ
3DEO Inc.へ出資

エプソンクロスインベストメント(CVC)



HKRITAと共同開発契約を締結
ドライファイバーテクノロジーを応用した
繊維再生の新技术開発技術を目指す



関美工堂と会津でデジタル印刷の可能性
を探るデジタル・オンデマンドプリントラ
ボ「HHT PRINT Lab.」をオープン

■ 目標

- 収益性・資本効率を重視した経営に変わりはないものの、外部環境変化を踏まえ、2025年度の業績目標は見直す

■ 取り組み

- 成長領域は課題に対する施策を着実に実行し、エプソンの事業ポートフォリオ変革を進める
- マクロ環境や売上成長を保守的に見積もった上で、業績目標達成に向け、固定費を中心としたコスト削減活動を実施し、収益性改善をさらに進める
 - ✓ グローバルでコスト削減を強化、一部で人員削減も開始

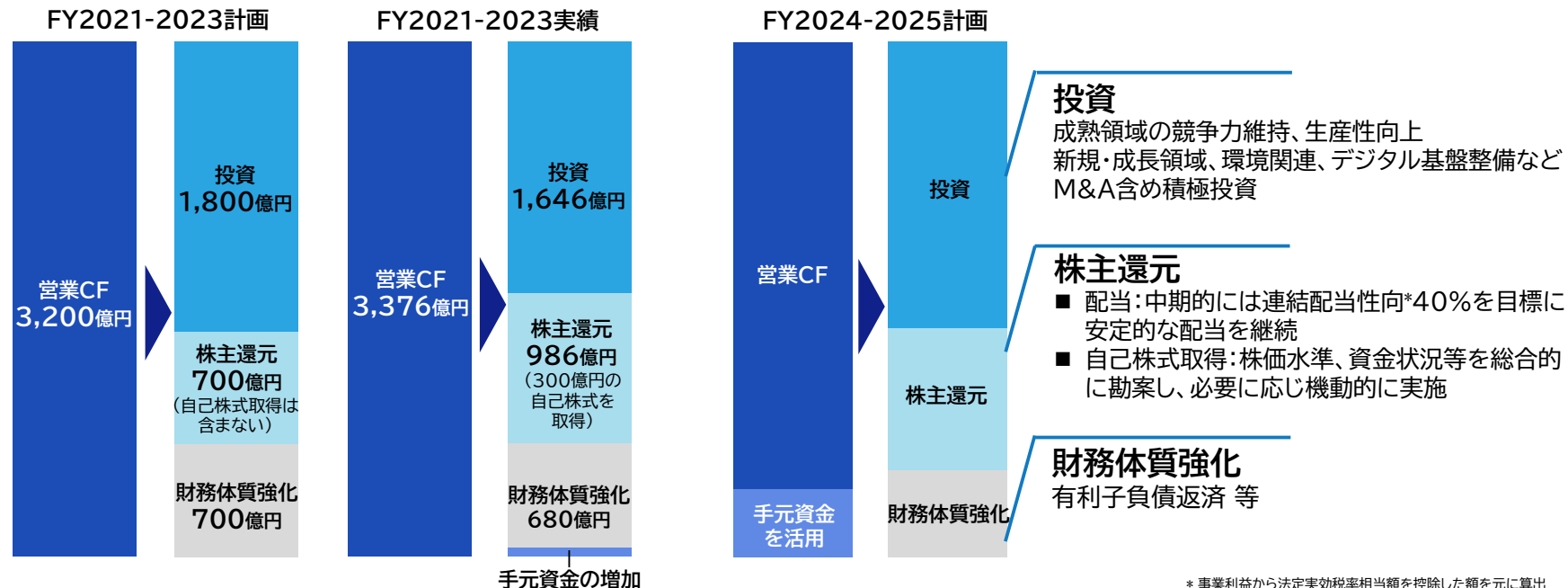
	FY2023		FY2025	
	目標 (2021年 3月発表時)	実績	目標 (2021年 3月発表時)	新目標
ROIC*1	8% 以上	4.6%	11% 以上	7% 以上
ROE*2	10% 以上	6.8%	13% 以上	8% 以上
ROS*3	8% 以上	4.9%	10% 以上	7% 以上

*1 投下資本利益率＝税引後事業利益／(期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均＋期首・期末有利子負債平均)

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率＝親会社の所有者に帰属する当期利益／期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

*3 売上収益事業利益率＝事業利益／売上収益

- 2021年度-2023年度は、概ね計画通りに成長戦略に基づく投資をした上で、積極的な利益還元、財務体質強化を実施
- 2024年度-2025年度も方針に変更なし



- 第4四半期実績
- 2023年度通期業績
- 長期ビジョン実現に向けた進捗
- 2024年度予想・株主還元

2024年度 通期業績予想 | ハイライト

	2023年度		2024年度		対前期		
	(億円)	実績	%	予想	%	増減額	増減率
売上収益		13,139		13,300		+160	+1.2%
事業利益		647	4.9%	800	6.0%	+152	+23.6%
営業利益		575	4.4%	710	5.3%	+134	+23.4%
税引前利益		700	5.3%	680	5.1%	-20	-3.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		526	4.0%	480	3.6%	-46	-8.8%
EPS*1(円)		158.68		144.74			
為替レート (円、指数)	USD	¥144.44		¥144.00			
	EUR	¥156.66		¥155.00			
	その他通貨*2	100		100			

- 税引前利益
 - 2023年度は、金融収益に円安進行による為替差益を計上

為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	為替影響額 (億円)
売上収益	-32	-16	-42	-90
事業利益	+5	-10	-21	-20

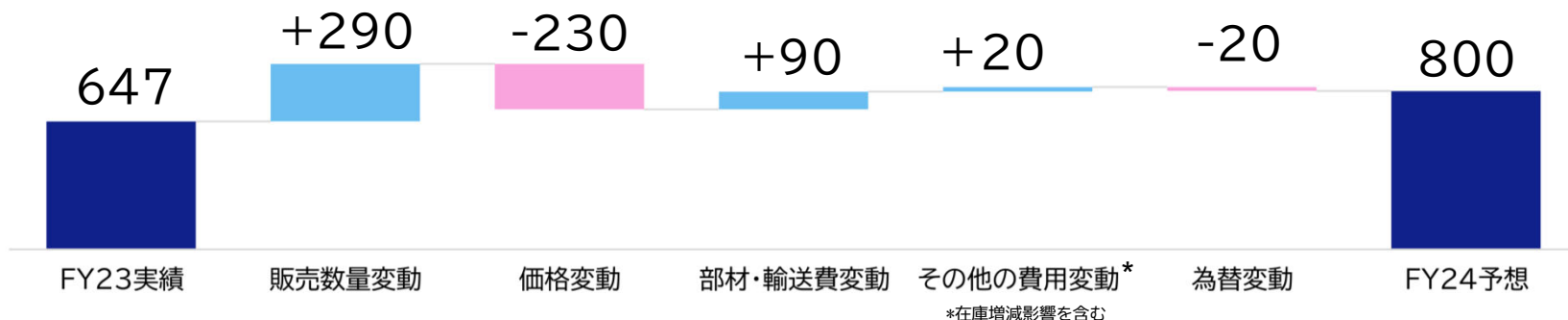
- *1 EPS：基本的1株当たり当期利益
- *2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示
- *3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

事業利益の増減要因(対 2023年度実績)

- 販売数量は、厳しい経済環境を想定するものの、商業・産業IJPを中心に増加
- 価格は、主にオフィス・ホームIJP本体で価格低下をリスクとして織り込む
- 部材費は高止まりが継続するものの輸送費が減少
- その他の費用では、生産・販売数量増加に伴う費用増加を織り込む。
2023年度に生じた在庫削減に伴うマイナス影響は解消

事業利益の増減要因

(億円)



(億円)

プリンティングソリューションズ	2023年度実績	2024年度予想	対前期
売上収益	9,186	9,240	+53
セグメント利益	961	1,050	+88
セグメント利益率	10.5%	11.4%	

オフィス・ホームプリンティング	2023年度実績	2024年度予想	対前期
売上収益	6,508	6,410	-98
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1	5,084	4,900	-184
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2	718	860	+141
その他*3	705	650	-55
事業利益	536	550	+13
事業利益率	8.2%	8.6%	

*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2:オフィス向けI/Cモデル-RIPS-LI本体、インクなど *3:スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2023年度実績	2024年度予想	対前期
売上収益	2,679	2,830	+150
商業・産業IJP	1,930	2,060	+129
小型プリンター他	748	770	+21
事業利益	424	500	+75
事業利益率	15.8%	17.7%	

■ オフィス・ホームプリンティング

- 大容量インクタンクモデルの認知度向上施策などにより伸長、販売価格は低下リスクを織り込む
- オフィス共有IJPは、製品ラインアップを生かし、IJP価値訴求、LPからの置き換えを加速
- インク売上は、インクカートリッジが減少する一方、大容量インクボトルやオフィス共有インクが増加し、前期並み

◆ 販売動向(社内管理値に基づく指標)

		FY23実績	FY24予想
オフィス・ホームIJP	伸長率	-9%	+3%
本体販売数量	約、万台	1,555	1,600
内 大容量インクタンクモデル		1,200	1,265
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		325	300
内 オフィス共有IJP		30	35
オフィス・ホームIJP	(円貨)	+6%	-3%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-0%	

■ 商業・産業プリンティング

- 完成品は作り上げたプラットフォーム活用でラインアップ拡充
- プリントヘッド外販は、最大市場である中国を中心に販売拡大
- 小型プリンターは、金利高による投資抑制の影響が継続し、販売伸長は限定的

ビジュアルコミュニケーション	(億円)		
	2023年度 実績	2024年度 予想	対前期
売上収益	2,174	2,200	+25
セグメント利益	315	370	+54
セグメント利益率	14.5%	16.8%	

■ ビジュアルコミュニケーション

- プロジェクター市場は安定的に推移
- 高光束モデルなど高付加価値製品の増加
- 2023年度に生じた在庫削減に伴う利益マイナス影響が解消

◆ プロジェクターの販売動向*	2023年度 実績	2024年度 予想
	販売台数(約、万台)	180
伸長率	-5%	+3%

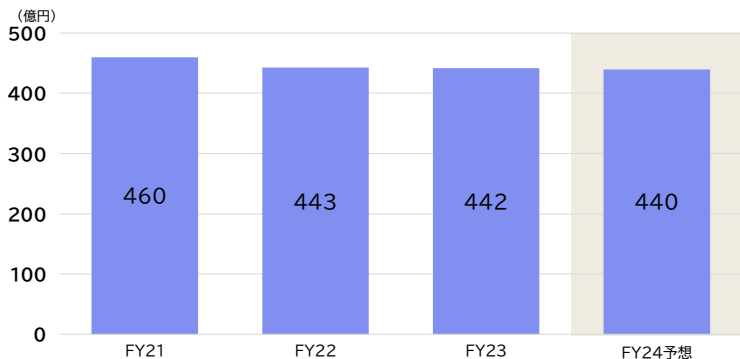
*社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連・ ウェアラブル	(億円)		
	2023年度 実績	2024年度 予想	対前期
売上収益	1,799	1,870	+70
マニファクチャリングソリューションズ	247	260	+12
ウェアラブル機器	347	350	+2
マイクロデバイス他	1,043	1,070	+26
PC	196	230	+33
事業間売上収益	-35	-40	-4
セグメント利益	-15	40	+55
セグメント利益率	-0.9%	2.1%	

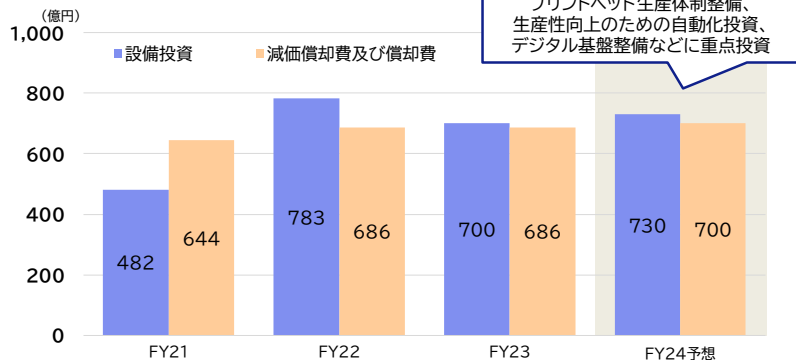
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニファクチャリングソリューションズは、中国での事業環境は厳しいものの、東南アジアや欧米での販売強化、将来成長に向けた新製品やソリューションの開発
- ウェアラブル機器は、収益性の改善を継続
- マイクロデバイス他は、下期からの市場回復を想定

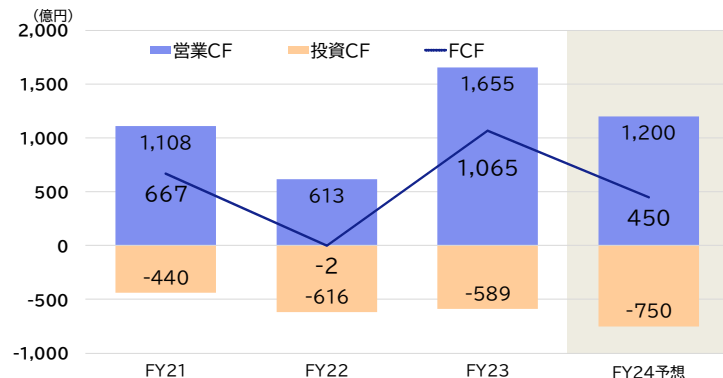
研究開発費



設備投資・減価償却費及び償却費



フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24予想	FY25中期目標(新)
為替レート:USD/円	112.37	135.44	144.44	144.00	-
為替レート:EUR/円	130.55	140.90	156.66	155.00	-
売上収益 (億円)	11,289	13,303	13,139	13,300	-
事業利益 (億円)	896	951	647	800	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	922	750	526	480	-
ROS *1	7.9	7.1	4.9	6.0%	7%以上
ROA *2	7.4	7.3	4.7	5.8%	-
ROE *3	15.2	10.8	6.8	6.0%	8%以上
ROIC*4	7.3	7.1	4.6	5.7%	7%以上

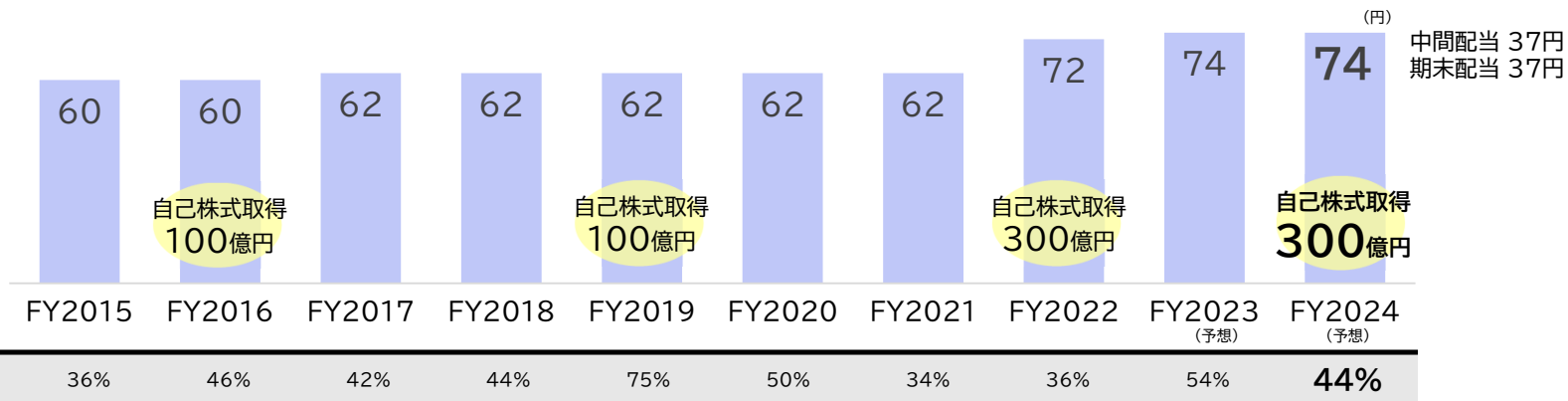
*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

■ 配当

- 2024年度の1株当たり年間配当は74円を予想
 - ✓ 中期的には連結配当性向*40%程度を目標に、安定的な配当を継続

■ 自己株式取得

- 2024年度に300億円を上限とする自己株式取得を実施予定
 - ✓ 資本効率のさらなる向上や積極的な株主還元の基本方針などを考慮
- 今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方針



* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

EPSON

補足資料

ESG
インデックス
組み入れ・
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「プライム」
- CDP企業調査2023「Aリスト」企業 (分野:気候変動、水セキュリティ)
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「ゴールド」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」
- 海外主力工場でRBA*1監査の最高位プラチナ認証取得(インドネシア)

- 24回グリーン購入大賞「大賞・経済産業大臣賞」:2023年12月
- 2023年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門)「資源エネルギー庁長官賞」:2023年12月
- コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2023「Winner Company」:2024年1月
- 第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン(環境サステナブル企業部門)「環境大臣賞・銀賞」:2024年2月
- 健康経営銘柄2024*2 :2024年3月
- 日経225 :2017年から選定

*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

*2 健康経営の目的・体制 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

GPIFが採用する ESG国内指数6件全てに選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



MORNINGSTAR GenDi J
Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index
TOP CONSTITUENT 2024

主要製品の販売動向

			FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 Q3実績	FY2022 Q4実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1実績	FY2023 Q2実績	FY2023 Q3実績	FY2023 Q4実績	FY2023 通期 実績	FY2024 通期 予想	
		*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	137.18	144.47	147.78	148.31	144.00	
			EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	149.40	157.20	158.98	161.07	155.00	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+9%	+31%	+42%	+26%	+27%	+1%	+3%	-4%	-13%	-4%	+1%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-4%	+12%	+23%	+15%	+12%	-3%	-2%	-9%	-21%	-10%	
		本体数量	伸長率	-19%	-1%	+20%	+10%	+2%	-7%	-0%	-7%	-19%	-9%	+3%
		本体数量	万台					約1,700					約1,555	約1,600
		内 大容量インクタンクモデル	万台					約1,240					約1,200	約1,265
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約430					約325	約300
		内 オフィス共有IJP	万台					約30					約30	約35
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					36%					38%	37%
		売上収益(円貨)	伸長率	+3%	+3%	+2%	+6%	+3%	+9%	+5%	+6%	+3%	+6%	-3%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-6%	-9%	-8%	-2%	-7%	+5%	-1%	+1%	-6%	-0%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+13%	+60%	+40%	+40%	+38%	+17%	-10%	-2%	+1%	+0%	+2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+0%	+37%	+21%	+28%	+21%	+12%	-15%	-7%	-9%	-6%	
		本体数量	伸長率	-3%	+22%	+4%	+19%	+10%	+4%	-10%	-5%	-8%	-5%	+3%
		本体数量	万台					約190					約180	約185

財務データ(2022年度・2023年度・2024年度予想)

EPSON

(億円)

		FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 通期 実績	FY2023 Q1 実績	FY2023 Q2 実績	FY2023 Q3 実績	FY2023 Q4 実績	FY2023 通期 実績	FY2024 通期 予想	
為替レート (円)	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	137.18	144.47	147.78	148.31	144.44	144.00	
	EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	149.40	157.20	158.98	161.07	156.66	155.00	
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,976	2,155	2,490	2,401	9,023	2,151	2,221	2,510	2,302	9,186	9,240	
	セグメント利益	210	186	273	222	893	223	150	369	217	961	1,050	
	オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,431	1,511	1,844	1,746	6,534	1,498	1,569	1,819	1,621	6,508	6,410
		事業利益	164	101	173	107	546	126	62	237	109	536	550
	商業・産業プリンティング	売上収益	545	643	646	653	2,489	653	652	691	681	2,679	2,830
		事業利益	46	85	100	115	346	97	87	131	107	424	500
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	456	635	601	475	2,168	529	573	590	481	2,174	2,200	
	セグメント利益	64	127	97	60	348	67	79	97	71	315	370	
マニファクチャリング関連・ウエアラブル	売上収益	560	572	527	495	2,154	473	452	439	433	1,799	1,870	
	セグメント利益	86	94	76	26	283	7	10	-15	-18	-15	40	
全社費用・その他、調整額	売上収益	-14	-10	-6	-12	-43	-5	-10	-5	1	-20	-10	
	セグメント利益	-134	-139	-134	-165	-573	-143	-151	-153	-166	-614	-660	
連結合計	売上収益	2,978	3,352	3,612	3,359	13,303	3,148	3,236	3,535	3,218	13,139	13,300	
	事業利益	226	268	312	143	951	155	88	298	103	647	800	
	ROS	7.6%	8.0%	8.6%	4.3%	7.1%	5.0%	2.7%	8.5%	3.2%	4.9%	6.0%	
研究開発費		109	113	111	109	443	109	116	109	106	442	440	
設備投資	プリンティングソリューションズ	78	92	106	196	474	67	64	167	142	441	450	
	ビジュアルコミュニケーション	14	13	11	34	73	12	9	20	18	60	80	
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	17	30	33	67	149	16	22	34	49	123	150	
	全社費用・その他	17	17	25	27	87	9	20	19	26	75	50	
減価償却費	プリンティングソリューションズ	101	104	106	102	413	103	103	105	106	418	430	
	ビジュアルコミュニケーション	27	26	25	23	102	24	24	23	22	94	100	
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	23	24	25	25	99	25	25	26	26	103	100	
	全社費用・その他	18	17	17	17	70	17	17	17	17	69	70	
営業CF		-123	333	149	253	613	273	341	523	516	1,655	1,200	
FCF		-309	186	23	96	-2	63	235	394	371	1,065	450	

海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30	141.55	132.28	137.18	144.47	147.78	148.31
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28	144.23	141.97	149.40	157.20	158.98	161.07

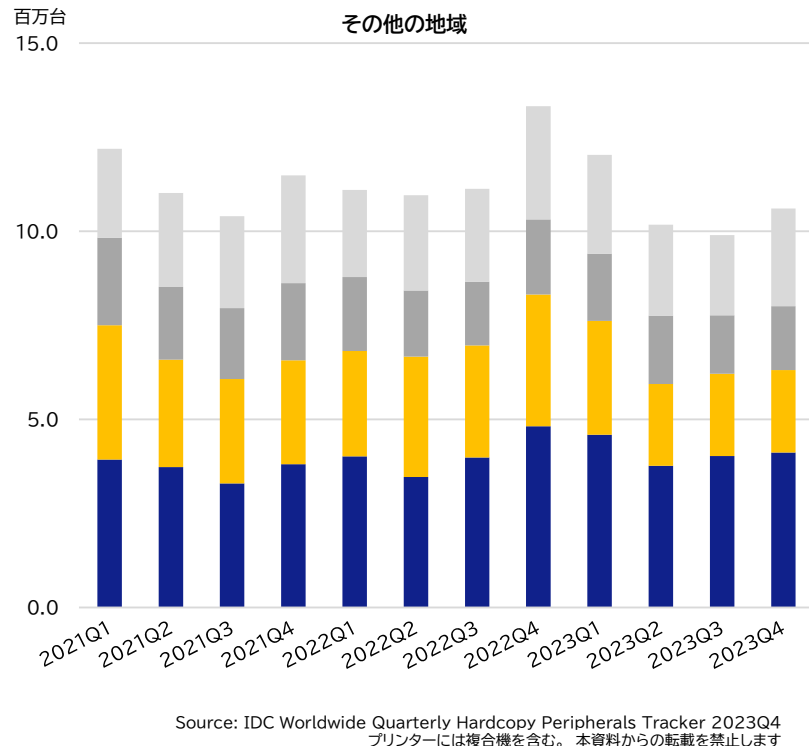
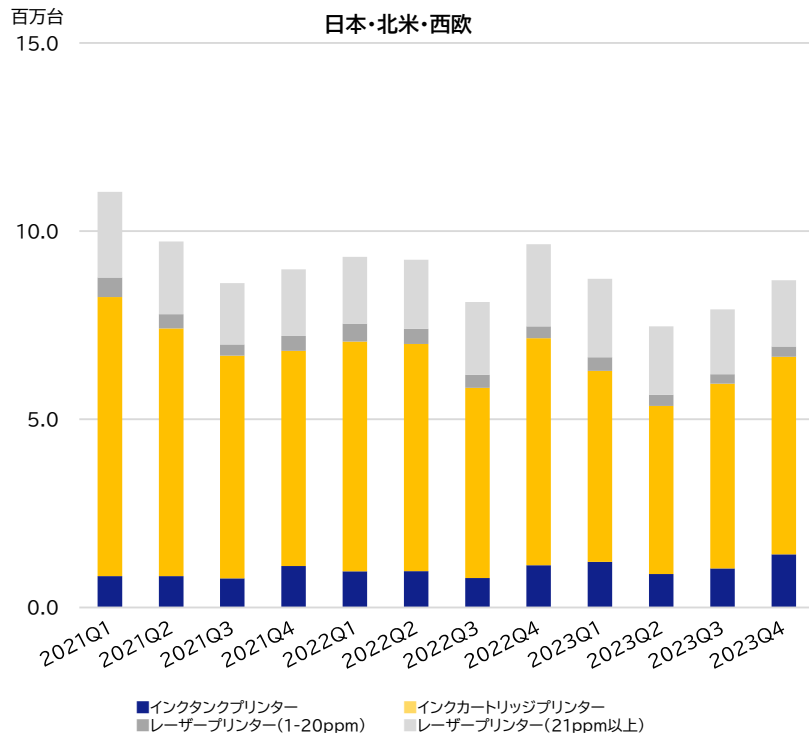
売上収益(億円)	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	対前年同期
米州	852	801	810	862	1,000	1,115	1,143	1,110	1,069	1,062	1,080	1,087	-22
欧州	583	571	623	617	573	683	785	780	621	708	842	721	-58
アジア・オセアニア	868	789	844	772	884	1,005	1,009	891	928	939	976	867	-23
海外売上収益計	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	2,938	2,782	2,619	2,710	2,898	2,677	-104
連結合計	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	3,612	3,359	3,148	3,236	3,535	3,218	-140

構成比	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
米州	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%	34.0%	32.8%	30.6%	33.8%
欧州	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%	19.7%	21.9%	23.8%	22.4%
アジア・オセアニア	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%	29.5%	29.0%	27.6%	27.0%
海外売上収益計	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%	83.2%	83.7%	82.0%	83.2%

従業員数

期末従業員数(人)	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末	対前年同期
国内	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	20,174	20,124	20,633	20,535	20,323	20,209	+85
海外	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	64,308	59,782	57,932	55,764	54,649	54,255	-5,527
連結合計	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	84,482	79,906	78,565	76,299	74,972	74,464	-5,442

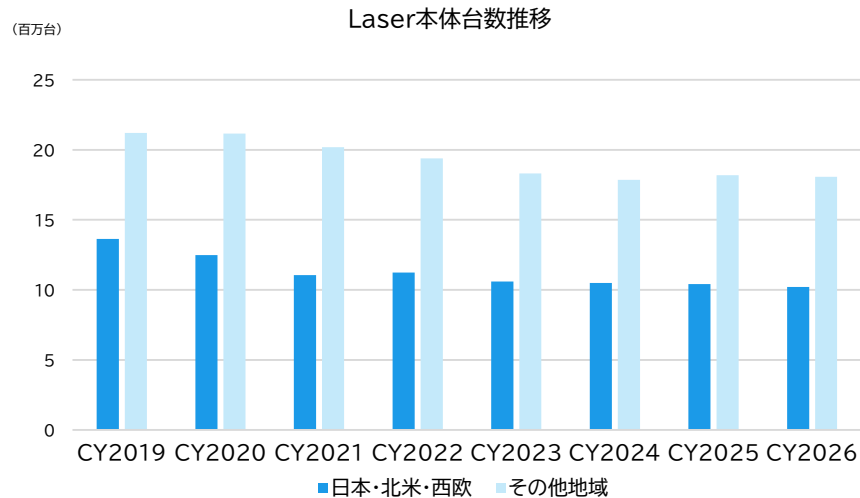
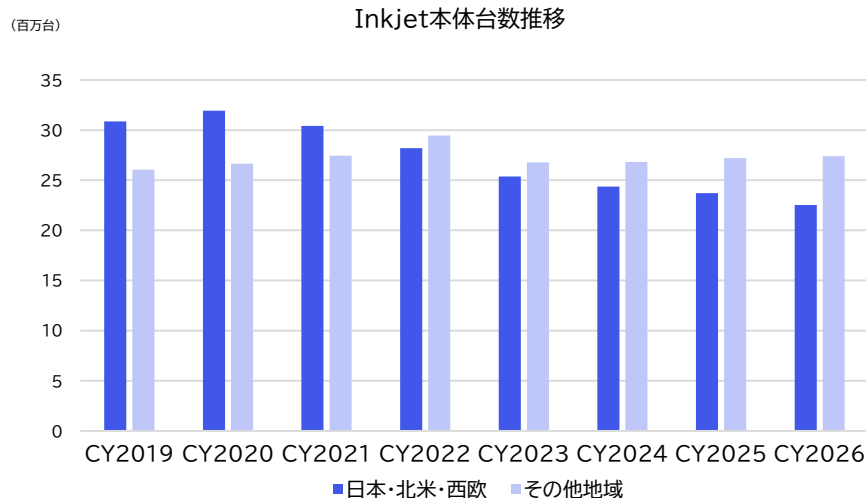
A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



プリンター本体

- COVID-19影響により発生した主に家庭での一時的な印刷需要増は収束
- 今後は、日本・北米・西欧で緩やかな減少を見込むが、その他地域で、安定的な推移を見込む

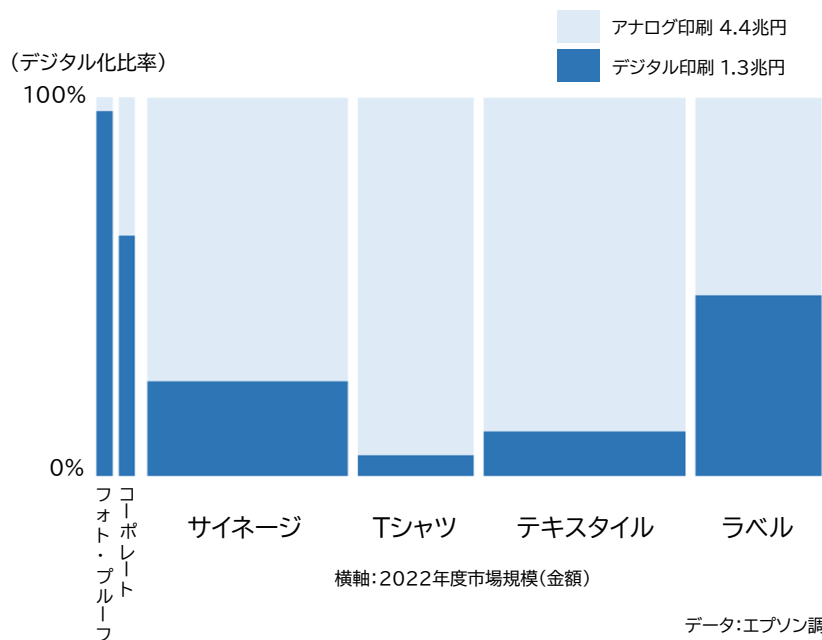
- 主にオフィスでの印刷需要は、在宅勤務・分散印刷が定着することでCY2019水準には回復しないが、安定的に推移



Source: IDC Worldwide Hardcopy Peripherals Tracker 2023Q4
 プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

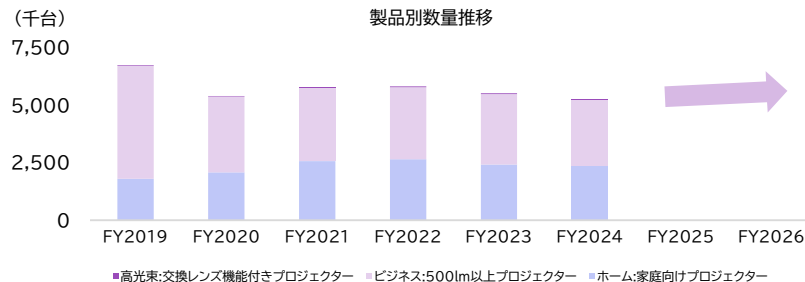
商業・産業IJP 完成品

- COVID-19やインフレ影響による投資抑制の影響を受けながらもデジタル化が進展



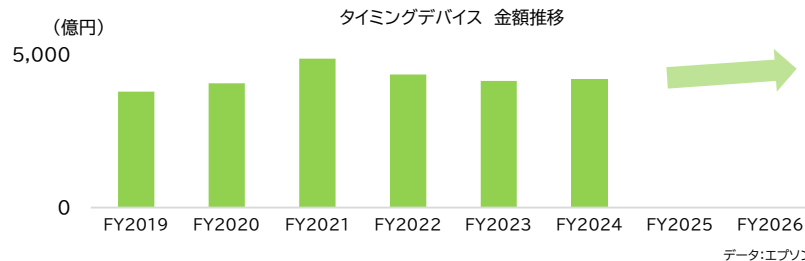
プロジェクター






- オフィス・教育向けはFPDによる侵食が見込まれるものの、ホーム向けスマートプロジェクターや高光束プロジェクターの需要増により今後も一定規模を保つ



水晶デバイス

- デジタル機器・IoT機器・通信インフラの増加などにより継続的に拡大



イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器		
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p>  <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p>  <p>高速 ラインインクジェット 複合機 (LIIJ)</p> <p>大容量インク パックモデル (RIPS)</p> <p>オフィス向け インクカートリッジ モデル</p>  <p>PaperLab</p> <p>SIDM スキャナー</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p>  <p>フォト コーポレート</p> <p>サイネージ ラベルプリンター</p>  <p>テキスタイル ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p>  <p>IJPプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p>  <p>小型プリンター 小型ラベルプリンター</p>	 <p>高光束</p>  <p>超短焦点</p>  <p>スタンダード</p>  <p>ホーム・スマート</p> <p>HMD</p> 	<p>ロボット</p>  <p>スカラ</p>  <p>6軸</p> <p>オプション</p>  <p>小型射出成形機</p> 	<p>ウェアラブル機器</p> <p>Orient Star Orient</p>  <p>ムーブメント</p>  <p>セイコービジネス</p> 	<p>マイクロ デバイス他</p> <p>マイクロデバイス</p>  <p>水晶デバイス</p>  <p>半導体</p>  <p>微細合金粉末</p>  <p>表面処理加工</p> 	<p>PC</p>   <p>エプソンダイレクト PC</p>

投資家情報



■ IRライブラリ

- ▶ 経営・事業戦略説明会
- ▶ 統合レポート

<https://corporate.epson/ja/investors/publications/>

<https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>

<https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>

■ 株主還元

<https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>

■ パーパス

<https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>

■ 長期ビジョン

<https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

サステナビリティ



■ サステナビリティ経営

<https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>

■ 環境

<https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>

■ 人材

<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>

■ ESGデータ

<https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

EPSON